

各位

金蘭千里中学校

本校入学者選抜試験問題に関するお願い

昨今、教育現場における著作権の在り方が議論されています。本校も、著作権法に基づいた著作物の適切な運用と管理に取り組んでいます。

本校の入試問題の利用につきましても、下記の点にご留意いただき、適切にご利用をお願いいたします。

記

1. 本入試問題の著作権は、本校に帰属します。複製の作成は、事前に申告いただいた場合のみ許諾します。
2. 本入試問題で引用している文学作品等の第三者の著作物は、関係団体を通じて、引用の許諾申請を行っています。

以上

令和 8 年度中学入試

[後期C 入試]

国語科 問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. この問題冊子は、表紙を含めて 20 ページあります。

試験中に、印刷がはっきりしなかったり、ページの乱れや抜け落ちに気づいたりした場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

3. 解答用紙は別に配布されます。解答はすべてその解答用紙に記入しなさい。

4. 問題冊子の余白等は下書きなどに利用してよろしいが、どのページも切り離してはいけません。

[後期C 入試] 受験番号 _____

金蘭千里中学校

【ここにメモを取ってもかまいません。】

①以下の和歌をめぐる音声をきいて、後の問いに答えなさい。

【本文は2回読み上げられますが、問いは1回しか読み上げられません。】

ちぎ 契りきな かたみにそで袖をしぼりつつ 末すえ まつやまの松山 浪なみ こ越さじとは

問1【問いも選択肢も読み上げられます】

問2【問いも選択肢も読み上げられます】

問3【問いは読み上げられます】

- ①貞観地震じょうがんじしんの時にも多くの人が避難ひなんしてきた。
- ②東日本大震災ひがしにほんだいしんさいの時には200人以上の人が避難してきた。
- ③今後も災害時には地域ちいきの人々に利用される見込みである。

問4【問いは読み上げられます】

- ①涙なみだを流して約束し合った愛が失われてしまったことを嘆なげいた歌である。
- ②「かたみに」とは「互たがいに」を、「契る」とは「約束する」を意味する。
- ③「末の松山」は台風が来ても高波が越えなかったと記録されている。
- ④清少納言せいしょうなごんを母とする清原元輔きよはらのもとすけが詠んだ歌である。

② 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

① 人間は、一人だけで幸福になることはありません。仲間との間につくられた信頼関係の中にしか人間の幸福はありません。人類は、その進化の過程で、信頼関係を結ぶ仲間の数を増やし、社会の力を向上させてきました。その過程でさまざまなものが生まれました。芸術、農業、牧畜、漁業、林業、工業、科学技術などはすべて人間が生み出したものです。それらを生み出した先に、より多くの仲間と信頼関係を結ぶことが幸福につながるという確信があったのでしよう。

仲間の数を増やしたのは動物も同じかもしれませんが、人間以外の動物には、人間のようなコミュニケーション技術をつくることはできませんでした。信頼関係ではなく、身体の同調だけで成り立っているヌーの大群のような例はありますが、それは、大量かつ均一に得られる草を食べる能力と、肉食獣の脅威から身を守ることによってできたものです。② 類人猿のように、一定の信頼関係をつくり上げている種もありますが、やはり一定以上に仲間の数を増やすことはできませんでした。熱帯雨林を出ていくことがその証拠です。熱帯雨林から出て多様な環境に適応するためには、人間のように自分を犠牲にしても仲間のために尽くそうとする強い共感力をもった社会をつくる必要があるからです。

ぼくは、2018年にブータンのジグミ・シンゲ・ワンチュク第四代国王に会う機会がありました。世界で話題となった国民総幸福量GNH (Gross National Happiness) を考えた人物です。彼が最初に考えたのは「満足度」でした。しかし「満足度」は個人にaキするものであり、bイツカセイのもの。それで「幸福度」に決めたそうです。確かに、幸福は個人が感じるものではないけれど、家族やコミュニティなど空間的な広がりが欠かせません。一人だけで幸福とはいえない。幸福を感じるには時間も重要で、ある一定の時間、幸福と感じなければ幸福とはいえません。前国王の言葉を聞いて、ぼくは大いに納得しました。

人間は本来、他者に迷惑をかけながら、そして他者に迷惑をかけられながら、それを幸福と感じるような社会の中で生きていく生物です。迷惑をかけることで絆は深まる。ぼくは、このことをアフリカの人々やゴリラから学びました。

アフリカの人たちは、子どもは皆のものという意識が強い。いいことをしたら褒めるし、悪いことをすれば叱る。ぼくが家族でアフリカに赴任していたときも、ぼくの子ども2人ととてもよく面倒みてくれました。

ガボン共和国のムカラバ国立公園でニシローランドゴリラの(注1)フィールドワークをしていたときには、心優しい(注2)シルバールバックとの出会いがありました。あるとき、彼が率いるグループでひとりゴリラとの衝突事件が起きます。この衝突によって、乳離れcマチカの子どもゴリラが、母親を失うと同時に、右手のひじから先を失う大ケガをしました。ぼくたちはこのゴリラにドドという名をつけていたのですが、母親もおらず、手について歩くこともAままならなくなった彼の運命は厳しいだろうと誰もが思いました。ところが、ドドは生き延びた。それはシルバールバックの思いやりのおかげでした。移動時、群れから遅れがち

なドドをゆつくりと待ち、木に登れないドドのために木の上からフルーツを落とす。心折れずにたくましく生きるドドの姿とともに、そのシルバーバックの思いやりにぼくは感心しました。そして、安全な森から（注3）サバンナへ出て、別の森に移動していくときに、その思いやりはシルバーバック以外のゴリラにも表れました。先に森に入った若いオスゴリラらが森の縁まで戻り、ドドが安全に森に到達するまでじっと見守っていたのです。

仲間を思いやるこうした行動は、危険な状況に直面したときに強化されます。きっと人類の祖先も熱帯雨林からサバンナに出ていく過程で共感力を高めていったのでしよう。ゴリラが家族的な集団の中で見せたこの共感力を、人間は、家族よりずっと大きな集団に拡大してきました。それが今、弱体化しつつあります。これからの時代に、その共感力や社会力をどうやってつくっていくかがぼくたちの課題でしょう。

AIと共存しながら人間らしく生きていくためには、生物としての野生の力も見直す必要があるのではないかと思います。

ぼくは、フィールドワークの最中に何度も死にかけました。それでもまだ生き残っているのは、もちろん運もあるけれど、野生の力、直観力も働いていたのかもしれないと思っています。

野生の世界というと、運がいいか悪いかで生死が決まるかのような印象があるかもしれませんが、ただの行き当たりばったりとは違います。「行き当たりばったりを予測している」のが野生です。だから、何が起ころうともおかしくないと思って身構えていないといけない。突然、ヘビが出てくるかもしれないし、イノシシが飛び出してくるかもしれない。とっきの判断が求められます。ただ、そこで必ずしも正解を導き出す必要はありません。不正解でなければいいのです。いくらでも方法はある。その中で、とにかく間違っても自分が死ぬようなことにならないようにする身構えが大切なのです。

たとえば、同じ種類のヘビでも、状況が違えば、行動は違いますね。警戒していなければ襲ってこないし、人間を敵だと思わなければ襲ってこない。大事なものは、そういうことを感じ取れるかどうか。たとえば、ジャングルを3人で歩くとき、ぼくは先頭を歩きません。先頭には、ぼくが一番信頼できる優秀な地元の人間をつけます。先頭の人間が気づくかどうかで、ぼくたちがヘビに襲われる危険性が変わってくるからです。

ガボンでニシローランドゴリラの調査をしていたとき、ゴリラに襲われたこともあります。長らく研究してきたルワンダのマウンテンゴリラと彼らの（注4）行動文法が異なることをぼくが理解していなかったのです。しつこく群れを付け回していたぼくにイライラしたメス2頭が前後から襲ってきた。頭をかじられ、足を噛まれて血だらけになりました。肉食動物が獲物を仕留めるときは、一瞬にして息の根を止めます。殺そうと思っっているからです。でも、ゴリラは植物食ですから、ぼくを食べようとは思っていません。排除しよう、思い留まらせようと思っただけかかかってきているので、どこまでやるかはぼくの反応次第。戦おうという

意思を示したら本気になるはずです。もしあのときぼくがジタバタしていたら、犬歯を突き立てられ、頭に穴が開いていたかもしれませぬ。そうしなかつたのは、一瞬の判断でした。

人間も、言葉をしゃべるようになる前まで、③「こういう世界で身体も心もつくられていました。隠れているものを感じる能力も備わっていたはずで。京都大学の近くに「哲学の道」という場所があります。この道にもぼくの耳では感知できないものがたくさんひそんでいます。見えている自然は、見えていないさまざまなものをつながりをもって成り立っていて、そのすべてのつながりの中に自分がある。そうしたつながりを感じる情緒を古来日本人はもち続けてきました。

ところが今、その心を失いつつある。X(作り物)の世界に住むようになった人間は、自分が知りたい情報だけを抽出して、あたかもそれが世界をつくっていると錯覚し始めています。インターネット社会の中で駆使されるのは視覚と聴覚だけです。目に見えないこと、耳に聞こえないことをないものとして排除し、見えるもの、聞こえるものだけで人間が住む世界をつくってきた結果、隠れているものがわからなくなりました。グーグルマップのようなナビゲーションシステムを利用しているとき、現実の五感で感じる世界はB二の次になっているのではないのでしょうか。現代に生きるぼくたちは、Y(仮想)空間に生きているといつてもいい。アフリカのジャングルのフィールドワークでスマホのGPS機能を使う学生を見て驚いたことがあります。GPSを使えば、自分の位置と目的地までの距離や方向がすぐに出てきます。だから、なるべくまっすぐ目的地へ向かおうとします。でも、その間には川や湿地帯、棘のあるやぶや危険な動物がいそうな場所など、さまざまな障害があります。むしろ遠回りしたほうが安全に早く目的地に到達できる場合が多い。GPSだけに頼るとそういった判断ができません。【1】

機械化、情報化が進む今だからこそ、もっと人間本来の能力を発揮できる環境をつくるべきだし、少なくともそういう方向に進むように調整すべきだと思います。とりわけ子どもの頃に、人間としての自分の身体がどういう世界で生まれ、どんなふうにつくられているのかを自覚するZ(機会)が与えられなくてはいけない。そういう環境を与えるのはおとなです。

ぼく自身は、運がいいことに、部分的にでもそういう環境が与えられる少年時代を送ることができました。当時の東京・国立市にはまだ田園風景が残っていて、クヌギ林もありました。(注5)二次的自然であっても、今の(注6)コンクリートジャングルよりだいぶましでしょう。だから、大学に入って屋久島の原生林でサルを追い、アフリカの熱帯雨林でゴリラを追う生活の中で、人間の手の入っていない本物の自然と向き合うことで「人間というものが本来どんな生き物なのか」ということに気づく素地があったのだと思います。それは非常にありがたいことでした。

もっといえば、このまま情報化が進めば、人間は「考える」ことをやめるかもしれません。言葉が生まれたことで、人間の脳は発達をやめました。言葉が、視覚や聴覚、嗅覚を担保してくれるおかげで、人間は自分の五感として脳の中に記憶しておく必要が

なくなりました。見たものや感じたことを言葉でラベルしておけば、何かを見たときに言葉によって思い出すことができるからです。つまり言葉を得たことは、外付けの記憶（注7）媒体を得たことと同じなのです。【2】

さらに人間は、テクノロジーを発達させ、その記憶媒体を大容量にしました。友だちの連絡先どころか、自分の携帯電話の番号さえ記憶していない人もいるのではないのでしょうか。こうして、あらゆるものがデータベース化され、自分の脳を使わなくなっています。実際、現代の人間の脳は、1万2000年前に農耕牧畜を始めた頃の人類の脳より10%小さくなっているとする説もあります。われわれホモ・サピエンスより、すでに滅びてしまったネアンデルタール人のほうが脳は大きかったこともわかっています。今は名前やモノにラベルを貼り付けているだけかもしれませんが、今後、④「考える」能力まで外付けになる可能性があります。実際、その兆しはすでにあります。たとえば、ネット上のショッピングサイトで買い物をする時、次回から、そのサイトを開いたとき、「あなたはこういうものが好きはず」「あなたはこういうものを選ぶはず」という具合に自分におすすめの商品が表示されますね。GAF A（グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル）に代表される（注8）プラットフォーム企業は、個人の好みや傾向などのデータを大量にdシユウヤクし、ビジネスに反映させています。そして人はそれに誘導され、やがて、買い物をするとき、自分で考えなくてもクリックするだけでよくなります。

人間はこれまでコンピュータを考え出し、インターネットを発明し、AIを発展させてきました。こうしたものを「考え出してきた」時代はよかった。しかし、人間がこうしたものに誘導され、自分の好みはこうだと思込込まされてしまい、考えることをやめてしまったら、自分の欲求はこの方向に向かっているに違いないと錯覚して、もうくよくよと考える必要がなくなります。もしかしたら、そのほうが楽かもしれません。でも楽になったその自分とは、いったい何者なのでしょう。【3】

ぼくたちが子どもの時代には、確実といわれる未来が、まだ見えていました。科学技術の進歩によって幸福な時代を迎えられると信じていることができていた。課題がたくさんあったからこそ、課題の解決は未来社会が担う役割であるということが明確でした。そして、課題が解決されたときの未来が、いかにも幸福な社会にeウツったわけです。たとえば、病気が撲滅されて寿命が伸びる。世界各国の人々がビザなしで行き来できる。世界各地の人々と瞬時にコミュニケーションができる。そういう未来が目の前に迫っているような気がしたし、実際、予想した未来はやってきました。【4】

ところが、実際にその未来がやってきたら、その先に、解決できない未来が見えてしまいました。⑤未来そのものが霧の中に沈んでしまった。価値観を喪失したともいえるかもしれない。若い世代に対してぼくたちが責任を感じるべきは、夢のある未来社会を彼らに見せることができていないことでしょう。

人間のおとなはすべて、自分の子どもではない子どもに対しても責任をもっています。自分の子どもであるかないかに関わらず、

子どもを育てる。この性質を捨て去ってしまったら、人間は生きる意味を失ってしまうといってもいい。ぼくたちおとなが死んだ後に未来の社会を担い、生きていくのは彼らです。次世代の人たちはぼくたちが滅びた後の世界を見る権利をもっていて、彼らが見る世界のためにぼくたちは義務を果たさなくてはいけない。そして若者たちも、自分たちの次の世代に対し、どういう責任をもつて、どんな世界を渡したらいいかを十分に考えなくてはいいけません。それが人類共通の目標であることをあらためて認識する必要があります。

(山極寿一『スマホを捨てたい子どもたち 野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』より 一部改めたところがある)

(注1) ファイルドワーク……野外で行なう採集、調査、研究など。

(注2) シルバーバック……大人のオスゴリラで、背中に銀白色の毛が生えているもの。

(注3) サバンナ……アフリカや南アメリカなどにある草原地帯。

(注4) 行動文法……それぞれの動物特有の行動パターン。

(注5) 二次的自然……人間によって創り出されたり、人が手を加えて管理・維持されてきた自然環境。

(注6) コンクリートジャングル……高層ビルが建ち並び、自然がない都市。

(注7) 媒体……伝達するための手段。

(注8) プラットフォーム企業……自分たちは商品やサービスを提供せず、他の企業が製品やサービスを提供する場合を提供する企業。

(一) 波線部 a～e のカタカナを漢字に直しなさい。

a キ(する) b イツカセイ c マヂカ d シュウヤク e ウツ(った)

(二) 傍線部 A・B の意味としてもっとも適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

A 「ままならなくなった」

- ア 間に合わなくなった イ 自由にできなくなった
ウ やる気がなくなった エ 母親になれなくなった

B 「二の次になっている」

- ア 最優先になっている イ 繰り返しになっている
ウ 忘れ去られている エ 後回しになっている

(三) X (作り物) ・ Y (仮想) ・ Z (機会) にあてはまる () 内の意味を表す外来語を次のア～オの中からそれ

ぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ア バーチャル イ チャンス ウ イメージ エ フィクション オ アイデア

(四) 次の一文は本文中の【1】～【4】のどこに入るか、数字で答えなさい。

【考えることをやめて、A I に操作される存在になった人間は、もう人間ではなくなってしまっているのではないでしようか。】

(五) 傍線部①「人間は、一人だけで幸福になることはありません」とあるが、その理由としてもっとも適切なものを次のア～

エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間は、信頼する仲間どうしでお互いに迷惑をかけ合うことで絆を深めて幸福を感じるから。
イ 人間は、同じ能力を持った仲間どうしで肉食獣の脅威から身を守ることで幸福を感じるから。
ウ 人間は、個人が満足するだけでは足りず、他者が満足することで初めて幸福を感じるから。
エ 人間は、より多くの仲間と信頼関係を結んで新たな技術を生み出すことで幸福を感じるから。

(六) 傍線部②「類人猿るいじんえんのように、一定の信頼関係をつくり上げている種もありますが、やはり一定以上に仲間の数を増やすことはできませんでした」とあるが、その理由としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 類人猿は人間のように新しい技術を生み出すほどの知能を持っていなかったので生活の場を広げる必要がなく、類人猿の社会自体が多くの仲間を増やす必要がなかったから。

イ 類人猿は仲間どうしでまったくコミュニケーションをとることができなかったため、仲間を増やして熱帯雨林を脱出だつしゅつするために社会を向上させるほどの信頼関係を築けなかったから。

ウ 類人猿は人間のように自分を犠牲ぎせいにして他者に尽くつくそうとする強い共感力がなかったため、仲間との信頼関係で多様な環境きやうきやうに適応できるほど社会の力を向上させられなかったから。

エ 類人猿は熱帯雨林を出て多様な環境に適応できるだけの能力を持っていたので、類人猿の社会ではコミュニケーションよりも身体の同調が社会の向上に必要とされてきたから。

(七) 傍線部③「こういう世界」の説明としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 生死せいじに関わる事態が生じたときに、常に最善ぜんぜんの選択せんたくを導き出せるように五感を研ぎ澄すませることが求められる世界。

イ 突然とつぜん危険な出来事が起こるのに備えて、状況じやうきやうの判断を地元の人に任せることでしか生き残ることができない世界。

ウ 予測不可能な出来事が起こったときに、そのときの判断ではなく運がいいか悪いかによって生死が決まってしまふ世界。

エ 生死に関わる突然の出来事を予測し、多くの方法の中から自分が死なない選択せんたくを瞬時しゆんじに判断することが求められる世界。

(八) 傍線部④「考える」能力まで外付けになる」とあるが、その説明としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人間は言葉を発達させたことによって脳の発達を止めてしまったが、今度は情報化を進めたことによって考えることをやめ、脳の容積をどんどん小さくして退化していつているということ。

イ 人間は言葉を用いることで自分の五感を用いて記憶することをしなくなり、科学技術の進歩にともなう言葉自体を脳内に記憶する必要がなくなり脳を使わなくなっているということ。

ウ 人間は言葉と技術の発達によってものごとを脳内に記憶しておく必要がなくなり、それに加えてコンピュータやAIによって考えを誘導されるようになって考えることもしなくなるということ。

エ 人間はテクノロジーを発達させることによって記憶するための媒体を生み出したが、さらに人間の代わりに考えることだけを目的とした新たな媒体を生み出そうとしているということ。

(九) 傍線部⑤「未来そのものが霧の中に沈んでしまった」とあるが、その説明としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 従来は未来は確実に幸福であると信じることによって、多くの課題が解決されて予想通りの幸福な未来が現実になっていったが、現在では幸福に対する価値観が失われてしまったことで人々は課題を解決していく意欲がなくなり、未来のことを考えなくなってしまうということ。

イ 筆者の子ども時代には、多くの課題が存在しており、課題を解決するという未来社会が担う役割がはっきりしていたが、今ではそれらの課題がすべて解決されてしまったので、これ以上科学技術を発展させる必要がなくなり、若い世代が今後するべきことがなくなったということ。

ウ 今までは解決できる課題が多くあり、科学技術が進歩してそれらの課題が解決されることで幸福な時代が来ると信じていることができていたが、課題を解決した現在では発展した科学技術によって新たに解決できない課題が生じ、若い世代が幸福な未来を想像できなくなったということ。

エ 昔は科学技術を発展させることによって課題が解決されて幸福な未来が来ると誰もが信じていることができていたが、すべての課題が解決されたことによって、現在は新たな課題を見つけることができなくなり、人々が幸福な未来を迎えることができなくなってしまうということ。

③ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

1 通め 悠陽ゆうやう

お父さんへ

はいけい。手紙の始まりは「はいけい」とつけるもんやでとおじいちゃんが言っていました。合ってますか。お元気ですか。シンガポールはあついですか、そうでもないですか、マライオンは水をはいてますか。

ぼくは元気です。四年生になって、四月も五月もずっと休みで、こないだはじめてやっと学校に行きました。

おじいちゃんもまりかお姉ちゃんも元気です。毎日お父さんの話をします。ごはん食べたかなと言います。おさけのみすぎてないかなと言ったりもします。シンガポールのおさけはおいしいですか。おいしくてものみすぎてはいけません。

おじいちゃんはおさけはのみません。知っていますね。お父さんはのむけどおじいちゃんのみません。まい日チョコレートを食べます。おじいちゃんは病気だから、チョコレートとかアイスとか食べすぎたら死ぬとお母さんが言っていました。なのにこっそり買ってきてかくしもっています。あかりにはないしょやでと言ってぼくにもおかしを食べさせたりとかします。①です。

お父さんは「うそをついてはいけい」とむかしぼくに言いました。うそをつくとそのうそを守るために新しいうそをつかなくていけなくなるからa**フベン**だと言っていました。うそをつくのは「悪いことだから」だめなんじゃなくて「悠陽がふべんになってストレスをためてくるしくなっ**て**はいけい**ない**から」でしたね。だから、ぼくはうそをつかないようにと思っ**て**いたけど、こないだうそをついてしまいました。

おじいちゃんのチョコレートをぬすみました。今日もきのうも、その前も、一日一こずつぬすんだ。おじいちゃんはおしいれにチョコレートをかか**し**ています。どうしても食べたくなったときにちよつとだけ食べるためにかくしておくんやと言**っ**ていたけど、ぼくはおじいちゃんがチョコレートを食べすぎで死んでしまうんじゃないかと思**い**ました。こわくな**っ**て、ぬすみました。ぜんぶいっぺんにとつたらばれるから、一日一こずつへら**し**ていくことにきめました。

チョコレートはぼくのつくえのひき出しのおくのおくに入れました。おじいちゃんが死んだらいや**だ**ったのでかくしました。おじいちゃんにきか**れ**た時も、知らないとうそをつきました。

でも、こないだ、ひき出しに**ア**リが**い**っぱい来て、お母さんにばれました。どこからこのチョコを持**っ**てきたのかときかれて、**だ**けど、それを言**っ**たらおじいちゃんとのやくそくをb**ヤブ**ることになるから、ぜ**っ**たい言**い**ませ**ん**でした。ぼくは**な**いてしまっ**て**、**で**も言**い**ませ**ん**でした。

お母さんは**ア**リは**ぜ**んぶ自分**で**かたづけな**さ**いと言**い**ました。ぼくは虫は**き**もちわる**い**ので**き**らいです。まりかお姉ちゃんをよん

〈中略〉

元気かい？ 一也くん。先日は丁寧な手紙をありがとう。

悠陽が僕のチョコレートを一也くんからの手紙でそれを知り、自分の鈍さがたいへん恥ずかしく、情けなかった。あの子はただチョコレートが食べたかっただけだと思っていたのですから。

君もよく知っているとおあり、あかりは子どもの食事には神経質なところがある。子どもらにスナック菓子や砂糖の多いジュースを与えすぎることが嫌がります。それがいけないというのではありません。親というのはたとえ我が子に嫌われてでも正しい道に導く義務がある。

けれども周囲が厳しい大人ばかりでは子どもの心はきつと荒んでしまうから、時にはおおいに甘やかされることも必要です。おじいちゃんというのはそのために存在するのだ、と思っていたdフジがありました。だから自分はただただ孫たちをかわいがればいいと。しかしながら、かわいがることと孫と向き合わずにごまかすことはぜんぜん違います。

僕は悠陽の心に、向き合えていなかったのです。九歳の彼のほうが、七十一歳の僕よりもずっと思いやりがある。あの子は優しい子ですね。あかりは「優しすぎるから心配なんや」と言いますが、なかなかどうして、芯の強い子です。

強さというのは、拳を振り上げることではありません。痛みや苦しみに鈍感なことでもありません。心配いりません。

ところで一也くん、子どもにたいして、僕たち大人はよく言いますよね。「嘘をついてはいけません」と。けれども一也くん、僕たちは、子どもの質問に嘘で答えることも、じつはしょっちゅうあります。たとえばeツゴウの悪い真実をごまかすため、あるい

悠陽

は真実を知れば相手が傷つくのでは、と心配する場合があります。

チヨコレートの一件があつてから、僕はできるだけ嘘をつかないようにふるまうと心に決めた。しかし本心からの言葉が相手を傷つけてしまうこともあるのだと思うような事件が昨日おこりました。あかりが新しい服を買ったのです。

赤い生地に黒い大輪の花がいくつも描かれ、茎や葉は毒々しい緑に金色の縁取りのある、④すこぶる大胆な柄のワンピースです。「似合う？」と訊かれたので、つい正直に「やめなさい、いい年してそんな派手な服、どこに着ていくつもりや」と答えてしまったのです。あかりはぶっとふくれてどこかへ行つてしまいました。そのあとはずっと、話しかけても不機嫌そうに無視です。夕飯のおかずもいつもより一品少なかったのです。

一也くん。僕はいつたい娘になんと声をかけてやればよかったのでしょうか。よう似合てるわあ、どこの女優さんかと思たでえ、と嘘をつけばよかったのでしょうか。しかし一也くん、ほんとうに派手だったのですよ。紅白歌合戦にでも出場するのかと思うような派手さだったのですよ。そんなもんびっくりするに決まるとるやないか！

遠い異国の地でひとりがんばっている君にこんなことを相談するのもおかしな話ですが、一也くんはあかりの夫なのですから、正しい答えを知っているはずですよ。ちなみに真里香に相談したら⑤鼻で笑われました。僕はあの時、いったいどうしたらよかったのでしょうか。

丸岡一也様

織田与志朗拝

〈3通め 中略〉

4通め 真里香

お父さんへ

元氣？ こっちは入学式が中止になったり、やっと高校生活がはじまったと思つたら夏休みがめちゃくちゃ減つたりでいいことがひとつありません。休校と休みは似てるけどぜんぜん違うもんね。そうでしょ？

今は学校がはじまって、毎日しんどい日々です。だけどお母さんは外国にひとりでお父さんのほうがきつと心細くてたいへんなはずだから、がまんしようって言ってます。そんなお母さんは、やっぱりなんだかんだいって⑥昭和生まれだなんて思います。だつてお父さんはたしかにたいへんかもしれないけど、それでお母さんやわたしのたいへんが重くなつたり軽くなつたりするわけじゃないから。どっちがよりどうこうって問題じゃないから。

お母さんはきつといつもメールで「元気だよ」とか「心配しないでね」とか強がってるんだらうけど、ほんとうはぜんぜん平気じゃなくて、たまにこっそりひとり頭を抱えたり膝抱えてメソメソしたりして姿を見かけます。夜中でみんな眠ってていられないと思ってるんだらうけど。だからなるべくたくさん電話やメールをしてあげて。

お母さんの強がりや厳密に言うのと、ウソってことになるよね。だけどね、そうするとお父さんもウソをついてることになるんだからね。

シンガポール、ほんとうは家族みんなで行きたかったんだよね。私、知ってる。だけどおじいちゃんの病気のこととか、私たちの学校のこととか、お母さんの仕事のこととか、いろいろ考えてあきらめたんでしょ。

海外赴任が決まった日、お父さんは「仕事に集中したいから、シンガポールにはお父さんひとりで行きたいんや。お前らは日本に残れ」なんて言ってたけど、目が真っ赤だったもんね。

だいじょうぶ、泣くのは恥ずかしいことじゃない。たとえ大人の男の人でもね。

そうそうこのあいだ、悠陽が机の引き出しにチョコレートカクを隠し持っていて、そこにアリがたかって大変なことになりました。残念ながらそちらは動画はありませんが、アリがうじゃうじゃしてほんとうにきもちわるかったです。アリアリパニックです。ワニワニパニックみたいになってみました。

じつは私、ほんとうは虫が大嫌いなんです。アリモクモもゴキブリも、実を言うとカブトムシもクワガタも、ぜんぶだめ。視界に入れるのもいやなぐらい。でも七歳年下の弟に泣きつかれちゃったら「は？ 虫？ なんてことありませんけど？」みたいな顔で殺虫剤をブシャーとやらないわけにはいかない。でもほんとうは毎回必死なんです。必死のパッチなんです。（必死のパッチと

いう言葉は何年か前におじいちゃんが使っていておもしろかったので、わたしも友人との会話などで使う機会を⑦コシタンタンと狙っていました。お父さんもご存じのとおりわたしは友人がいないので、今回ようやく使えました）

それでなにが言いたいのかと言うと、そうやって平気なふりをしているうちに、以前より虫に慣れてきたってことなんです。べつに虫のほうの外見や態度をあらためてくれたとか、そういうわけじゃないんですよ。あくまで私の慣れたってことなんです。

これはつまりウソが真実に寄せてきたってこと。どう？ すごいことなんじゃない？ ウソって、ずっと言い続けているとほんとなることもあるのかも。新発見です。

だったらいいウソをついたほうがいいね。現実になると困るようなウソはつかないほうがいいんだ、きつと。

それでね、お父さん。考えたんだけど、たとえばほんとうの気持ちとはちがうのに相手に負担をかけないように口にするとお母さんやお父さんみたいにね。って、この世にはたくさんありますよね。だけど何度も言っているうちに、自分でもどれがほんと

うでどれがウソの気持ちなのかわからなくなったりすることもあるね。それぐらい人の「気持ち」って、ものすごくあいまいで複雑なものなんだって思います。

ウソはいけないって言う考えは、シンプルでくつきりしていますね。気持ちがいいですね。でも私は、物事をあいまいで複雑なまま受けとめられる人になりたいのです。

いくら気持ちがいいからって、「ウソはいけないと思います！」って学級会で叫ぶ小学生みたいな大人になるのはいやだな。だってそんなのかっこわるい。そう思わない？

こんどはお手紙書きます。おやすみなさい。

真里香

(寺地はるな「おてがみかきます」 『飛ぶ教室』 第63号所収 一部改めたところがある)

(一) 波線部 a ㄱ e のカタカナを漢字に直しなさい。

a フベン b ヤブ(る) c タイジ d フシ e ツゴウ

(二) ①にもっとも適切な語を次のアㄱオの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ようぎ者 イ きようはん者 ウ ぎせい者 エ せんりようやく者 オ かがい者

(三) 傍線部②「もうほんとのことと言えなくなりました」とあるが、次のアㄱオのうち「ほんとのこと」にふくまれないものは

どれか。一つ選んで記号で答えなさい。

ア おじいちゃんにないしよでチョコレートを食べたこと。

イ おじいちゃんのチョコレートを引き出しの中に入れたこと。

ウ 引き出しの中のアリのタイジしたのは自分ではないこと。

エ このままではおじいちゃんが死んでしまうと思ったこと。

オ おじいちゃんにまで知らないとうそをついてしまったこと。

(四) 傍線部③「一也くんからの手紙」とあるが、そこに書いてあったことはどんなことか。もっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 悠陽ゆうひがチョコレートの一つずつ取っていたのは、おじいちゃんおじいちゃんの目をごまかすためだったということ。
イ 悠陽がおじいちゃんおじいちゃんと秘密を共有することで、あかりの怒りいかの矛先ほこさきをそらそうとしていたということ。
ウ おじいちゃんおじいちゃんがチョコレートを独り占めひとじしていることに対して、悠陽がかねてから不満いだを抱いていたということ。
エ 悠陽がおじいちゃんおじいちゃんの体を心配して、チョコレートを食べさせないようにしたということ。
オ おじいちゃんおじいちゃんが内緒ないしょでチョコレートを食べていることが、いつあかりにバレるか心配しているということ。

(五) 傍線部④「すこぶる」、⑤「鼻で笑(う)」の意味としてもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ④ ア いたって イ かえって ウ あくまで エ まずまず オ いくらか
⑤ ア 開き直る イ 見くびる ウ ひねくれる エ おどける オ ふてくされる

(六) 傍線部⑥「昭和生まれだな」とはどういうことか。その説明としてもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 令和の今と違って、ちが「昭和」は男尊女卑だんそんじよひがひどかったということ。
イ 令和の今と違って、「昭和」は子供こどもは親に従順じゆんだったということ。
ウ 令和の今と違って、「昭和」は忍従にんじゆうが美德とされてきたということ。
エ 令和の今と違って、「昭和」はあらゆるものが古臭ふるくさかったということ。
オ 令和の今と違って、「昭和」は自由じゆうにものと言えなかったということ。

(七) 傍線部⑦「コシタンタン」とは、動物が獲物えものを狙って身がまえ、鋭すまじく見つめる様子を表した四字熟語である。その動物とは何か。もっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 狼おおかみ イ 鷹たか ウ 蛇へび エ 虎とら オ 熊

